

リアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究

調査研究年度

2009・2010年度

浸水対策の推進

(目 的)

合流改善や局地的大雨に対する新たな対策手法として期待されるリアルタイム雨水情報ネットワークについて、雨量、水位・流量といったリアルタイム情報の配信方法、リアルタイム浸水予測の方法、効果的な情報コンテンツといったリアルタイム雨水情報ネットワークの各要素技術について、これらを確認するための研究を行い、技術資料としてとりまとめることを目的とする。本研究は二カ年にわたって実施されるが、初年度はリアルタイム雨水情報ネットワークの位置づけ、ネットワークの概要、そして全体の研究計画の立案について整理することを目的とする。

(結 果)

(1) リアルタイム雨水情報ネットワークの位置づけ

都市の下水道においてはハード対策だけではなくソフト対策も組み合わせた高度な雨水管理が必要である。リアルタイム雨水情報ネットワークは、このような雨水管理を実現する具体的手法としてその効果が期待されながらも、さらなる研究が必要な一手法という位置付けになるものとした。

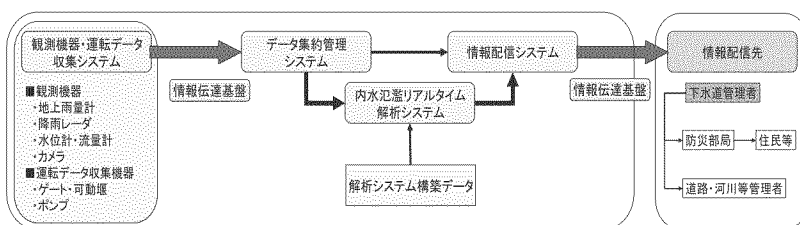


図-1 リアルタイム雨水情報ネットワークの概念図

(2) リアルタイム雨水情報ネットワークの概要

リアルタイム雨水情報ネットワークとは、浸水対策や合流改善における施設の効果的な運用、住民の効率的な自助を導くための情報提供を目的とした、図-1のような観測機器・運転データ収集システム、データ集約管理システム、解析及び情報配信システムからなるネットワークをいう。

(3) 研究フロー

リアルタイム雨水情報ネットワークに存在する課題の解決のため、図-2のフローにしたがって研究を進めるものとした。

(4) 主な審議内容

本研究における主な審議事項は以下のとおりであるとした。

- ・適用範囲の検討
- ・ネットワークの検討
- ・システム管理・運用の検討
- ・導入効果の検討

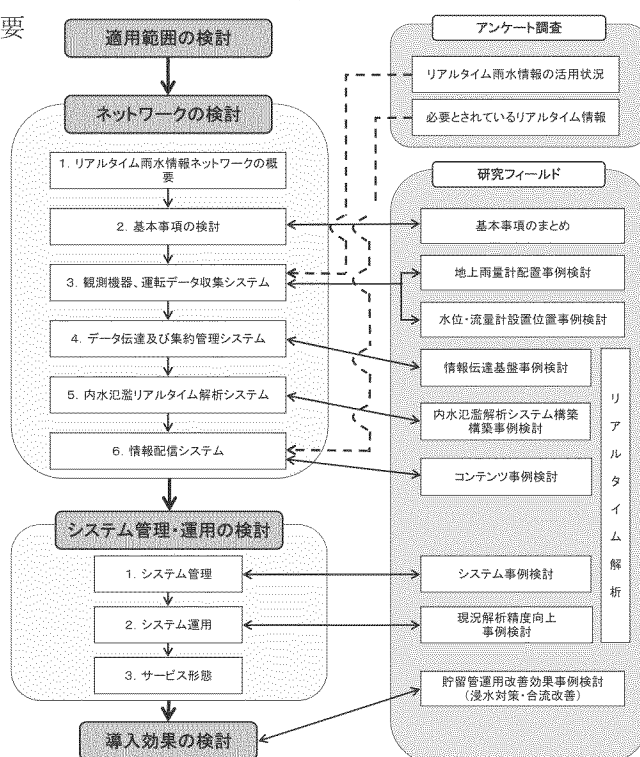


図-2 研究フロー

共同研究者：メタウォーター(株)、(財)下水道新技術推進機構

問い合わせ先：研究第二部 松島 修, 田之倉 誠, 山崎 恭司【03-5228-6598】

キーワード 浸水対策, 合流改善, リアルタイムコントロール